

本報告書の全部又は一部の無断転載を禁じます。

KAKEN

No. OS-19-041587-8R(1)

試験報告書

依頼者名: Salute Lab 株式会社 際
試験項目: 抗ウイルス性

2019年9月27日付で当所に提出された試料の試験結果は、下記の通りです。

2019年10月24日

カケン

〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目5番19号
一般財団法人 カケンテストセンター
大阪事業所 生物ラボ
Tel:06-6441-0399 Fax:06-6441-6803

記

試験結果:

1. 試料の種類・名称等

試料No. 試料の種類・名称等

① イオニアミスト

2. 対照試験および抗ウイルス性試験

2.1 A型インフルエンザウイルス

試料No.	前処理等	対照試験		抗ウイルス性試験			
		洗い出し液の細胞毒性の有無	洗い出し液へのウイルスの添加回収試験の回収率(PFU/mL)の常用対数	検出ウイルス濃度(MIU/mL)の常用対数	判定値 ¹⁾ $\log(Vc)^{2)}$	検出ウイルス濃度(MIU/mL)の常用対数	
①	原品	無	1.85	0.7	不成立	<2.30	>4.6
			無	2.58			
	接種直後のウイルス力価(PFU/検体片)の常用対数(log(Va))					6.92	
	1時間静置後のウイルス力価(PFU/検体片)の常用対数(log(Vb))					6.50	
	減少値: A(試験成立条件: 減少値 ≤ 1.0)					0.4(成立)	
	接種ウイルス液のウイルス力価(PFU/mL)					4.8E+07	

本報告書に記載の試験結果は提示試料に対するものであり、荷口(ロット)全体の品質を報告するものではありません。※参考所収のない報告書については、当財団は一切責任を負いかねますので、念のため申し添えます。

確認 作成

A型インフルエンザウイルスの抗ウイルス性試験 (カケンテストセンターにて実施)

試験方法: JIS L 1922:2016(ISO 18184:2014、準用)、準用

通常は接触時間が2時間の試験を、1時間に短縮して実施

ウイルス力価の定量方法: プラーク法

試験で使用したウイルスの種類[宿主細胞]: A型インフルエンザウイルス (H3N2) ATCC VR-1679 [MDCK細胞 ATCC CCL-34]

1時間試験でもウイルスの不活化は下記のように確認されたが、酸化作用が高いため、同時に宿主細胞まで分解してしまい、試験としては不成立という結果になりました。

イオニアミスト 検証試験	(常用対数表示)		(理論上のウイルス数 [=10 ^{log(V)}])		理論上の ウイルス減少率
	接種直後	1時間静置後	接種直後	1時間静置後	
A型 インフルエンザ ウイルス力価	log(Va)=6.92	log(Vb)=2.30	8,317,638	200	99.997 %